

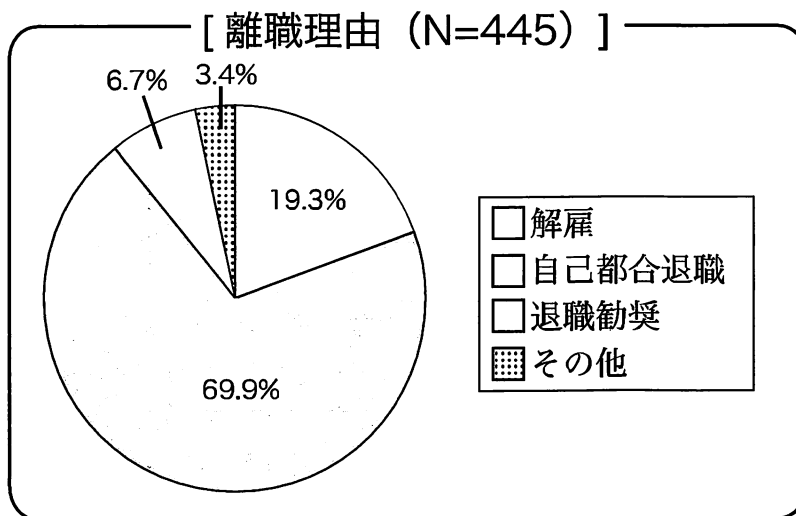
POSSEハローワーク前アンケート調査結果

2009. 9. 30

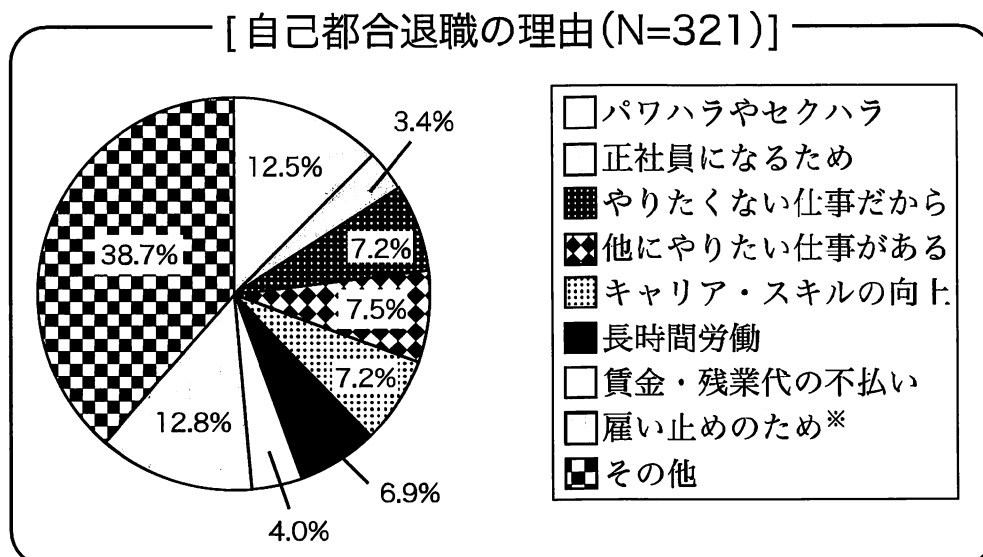
■調査概要

- 調査時期 1/19~9/30
- 収集データ数 445名
- 収集場所 飯田橋・池袋・京都・品川・渋谷
- 調査方法 街頭対面型アンケート
- 調査対象 ハローワークに通う10代~30代の失業者

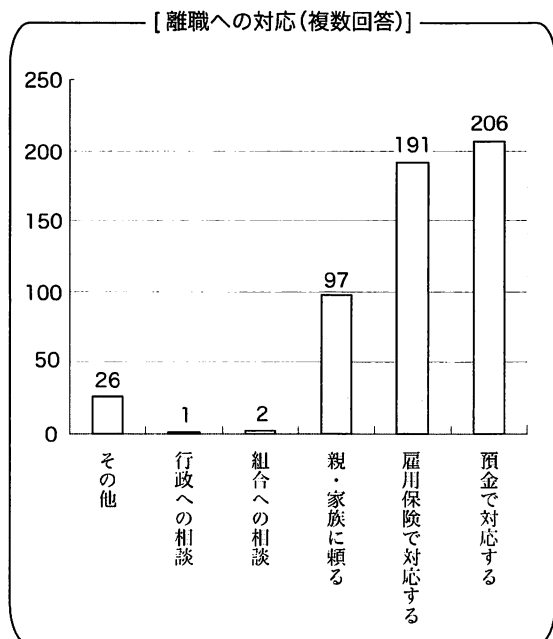
■アンケート分析結果



←解雇や退職勧奨も多いものの、離職理由の大半は自己都合退職となっている。そこで、なぜ「自己都合」で辞めているのかが問題となる。



↑本来「自己都合」ではないパワハラやセクハラ、長時間労働、賃金不払いといった違法状況までが「自分の責任」と受け止められていることがわかる。また、雇い止めについても企業には責任が無く、争う余地のないものだとして受け止められていることが分かる。



←ハローワーク前調査のため、恐らく雇用保険受給者の割合は大きくなっている。にもかかわらず、預金や親元に頼ってでないと生活が維持できない状況が明らかになった。また、離職の際に労働組合や行政へ相談する者が少ないことにも注目したい。

■解雇・退職勧奨事例集

No.	事例
01	ノルマはクリアしていたが、「能力不足」と言われ、経営悪化を理由に整理解雇。職場で10人くらいが同じ目に。(36歳、不動産業、正社員)
02	上司から売り上げの悪さに対して個人攻撃を受ける。そのような経緯で辞める人が半年に一人位いる。上司は「これに耐えられないようじゃどこに行っても通用しない」と言う。自己都合退職という離職理由であるが、退職勧奨に近い。(25歳、語学学校運営、正社員)
03	仕事のスキルは関係なく、上司に従順かどうかでさまざまなことを判断される。契約満了による退職であるが、できれば続けたかった。上司と折りが会わず、上司からは「辞めたら」と進められ退職。(29歳、女性、電話センターオペレーター、女性、契約)
04	「給料を払う余裕がなくなった」という理由で、整理解雇。(23歳、男性、営業、正社員)
05	「業績が悪くてどうなるかわからないから次の仕事を辞めた方がよい」といわれ辞める。退職勧奨であるが、自己都合扱いで退職。(38歳、男性、化粧品商品管理、正社員)
06	「仕事の量が減ったのでやめてほしい」といわれ辞める。退職勧奨。(36歳、男性、倉庫作業、バイト)
07	不況による工場縮小。「宮城の工場に行ってくれ」と言われるが、さすがに不安なので断る。解雇。(50歳、男性、製造業検査員、正社員)
08	不況による整理解雇。派遣は8人いたが全員切られる。(30歳、女性、半導体、派遣。)
09	「気合いが足りない」といわれ解雇。(33歳、男性、倉庫内作業、正社員見習い)
10	「君の責任ではないが、自己都合退職にしてくれるとありがたい」といわれ、退職。ハローワークでは「解雇」として扱ってくれた。(24歳、女性、金融、正社員)
11	以前から上司ともめていた。赤字だったが、努力せずの整理解雇。(32歳、女性、正社員)
12	「なるべく残したいが仕方がない」といわれ、会社の経営不振による離職。退職勧奨。(25歳、女性、事務、正社員)